

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

創業家は志や理念の体現者として存在する 永守 重信 (日本電産会長兼社長)

1. 最近、創業家のあり方を巡る議論が再び熱を帯びている。創業家が現経営陣と対立したり、創業家が社長を務める企業の経営が傾いたり、いろいろと問題が起きているからだ。まず最も大事なことは、共に志を持つことだ。私は、1973 年に仲間 3 人と日本電産を創業した。その時から「子供は会社に入れない。後継者にしない」と宣言した。最初から「我々は世界的な企業になろう」と大きな志を立てたからだ。
2. 世界で通用する企業になるには、優秀な人材が必要である。子供や孫が優秀かどうかは分からないし、何より社員たちの士気が大事だ。成果を上げればちゃんと評価し、地位でも報酬でも報いなければならない。誰にでも社長になれる可能性があるべきなのは当然のことだ。最も基本的なことだが、世界的な企業になるには社会の役に立つ、そして認められる存在にならないといけない。その大きな目的をみんなで共有すれば、創業家問題などは起こらないと思う。
3. 私は「100 年後も成長する会社になる」「赤字は罪悪」「世界一を目指す」と言い続けてきた。そのためには当然、社会に必要な存在にならなければいけない。そういう理念や思想を、時代を超えて継承し続けていけば、お家騒動などあり得ない。むしろ、創業家は、そういう志や理念を体現する存在として意味を持つとも言える。

(参考:「日経ビジネス」2017 年 8 月 28 日号)

新規成長分野

新産業革命がもたらすもの

三品 和広 (神戸大学大学院教授)

1. このところ、AI や自動運転の話題で持ち切りである。我々はどうやら新たな産業革命の渦中に生きているらしい。さて、未来はどうなるのであろうか。元祖産業革命では、蒸気機関が綿布の大量生産を可能にすると、染料の需要がケタ違いに膨らんで、そこで勃興した化学産業が電気を呼び込んだ。今はテレビにコンテンツを供給するメディア産業が往時の化学産業に相当する可能性が高い。問題はそれが何を呼び込むかである。
2. まだ見ぬ電気に相当するのは、論理的に考えれば光である。光といってもファイバーではない。制御において電子が果たしてきた役割を、光子が担い、熱を出さない光コンピューティングの時代がやってくる。おそらく。日本も、光に照準を合わせて、潔く半導体は捨てるくらいのことを考えてよいのではなかろうか。

(参考:「週刊東洋経済」:2017 年 8 月 26 日号)

経営者のための危機管理

定性的に見る倒産の兆し

1. 危険レベル (A) … (1) シナジーの見えない M&A (2) 監査法人の交代 (3) 海外子会社に原因不明の内部販売が急増 (4) 会社や業界で起きていることを説明できない (5) 「競合はいません」と言い張る
2. 危険レベル (B) … (1) 社長・IR 担当者が過去の成果ばかり語る (2) 会社サイトに経営陣の写真がない (3) 非現実的な事業計画 (4) 修正開示の数が増加 (5) 会社の雰囲気・整理整頓状態が悪い (6) セールの頻度、季節外れのセールの増加

(参考:「週刊ダイヤモンド」)

2017 年 8 月 12 日・19 日号)

古典に学ぶ

商才も論語から学ぶ

(解説) 商才は道德と離るべからざるものとすれば、道德の最たる論語によって養えるわけである。また人の世に処するの道はなかなか至難のものであるけれども、論語を熟読玩味してゆけば大いに覚るところがあるものである。ゆえに私は平生孔子の教を尊信すると同時に、論語を処世の金科玉条として、常に座右から離したことはない。

(参考: 洪沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)